

川重岐阜山岳部ニュース 2023年 4月号

発行 2023.4.25

～活動報告～

➤ 12/10(土) 伊木山【トレーニング】

参加者:5名

年末の阿弥陀北稜に向けて、トレーニングを行いました。セルフビレイの取り方や懸垂下降の方法について皆で念入りに確認しました。

冬の岩場では、クライミングの際にもアイゼンを履くことが必要です。ロープを傷つけないように足を運ぶなど、気を付けることが少なくなく、一つ一つ丁寧に動作することが大切だと思いました。トレーニングの後は三柿野寮の部室へ向かい、雪上トレーニングの装備チェックを行いました。 By M.



岩場でアイゼンワークを確かめる

➤ 12/17(木) 西穂丸山【雪上トレーニング】

参加者:5名

1泊2日の予定でしたが、爆風予報のため日帰りで西穂に行きました。ロープウェー往路で手間取り、登山口に着いたのは10時半。復路の時間を考えると、活動できるのは残り5時間程度。皆で話し合い、行けるところまで行ってトレーニングしてみることにしました。まずはふかふか雪の樹林帯を歩き、西穂山荘を目指します。ウサギのトレースを見つけたりしながら90分程度歩くと、山荘に到着しました。

この先は稜線で風があるため、厳冬期の装備で望むことに。山荘の脇をお借りしてヤッケを着たりアイゼンを履いたりして準備を整え、再出発。爆風の中を30分程進み、丸山に到着。思ったより天候が悪く、集合写真を撮って早々に引き返しました。樹林帯の傍でラッセルを練習して、しっかりトレーニングも行いました。

帰りのロープウェーでI君が山頂駅に手袋を忘れるハプニングもありましたが、数人のスタッフがリレーしてくれ、無事に井手君の手元に届きました。忘れ物には気を付けたいと思います(笑) By M.



丸山にて集合写真

➤ 12/29(木)～30(金) 阿弥陀岳北稜・赤岳【年末山行】

参加者:6名

2022年の登り納めは八ヶ岳南部の阿弥陀岳に行きました。Sさんは初日の行者小屋まで同行し、2・3日目は赤岳周回の別ルートです。初日は美濃戸から行者小屋へ移動し、テントを設営しました。翌日は6時に行動開始し、7時半に取り付きに到着。ここからロープを出してのバリエーションルートになります。1パーティーが先行していて、すぐ後にもう2パーティーやってきました。人気エリアは活気があります。1ピッチ目はKさんがリード。あっという間にルートができていきます。後ろではMさんがビレイを担当しています。Kさんから合図があると、H・T・Mの3人は間隔を開けて

ルートを通ります。高度感がありますが、時折ロープに身を委ねながら攀じ登りました。

2 ピッチ目は Mさんリード。同じくあっという間にルートができていき、辿っていくと山頂直下まで来ていました。今年はお二人の様にカッコいいリードができるように練習していきたいです。雪山でのクライミングは初めてでしたが、とてもいい経験になりました。

この日は風が少なく快晴で、とても澄んだ青空が広がっていました。Tさんによると、八ヶ岳ブルーというそうです。By M.



阿弥陀岳頂上にて集合写真



富士山をバックに八ヶ岳ブルー

➤ 2023/1/21(土) 伊吹山【月例山行】

参加者:6名

Fさんカーのバッテリー上がりのハプニングをHさんが救い、2023年登り初めの目的地、冬の伊吹山を目指しました。この日はとても天気がよく、登山口の駐車場はすでに車がたくさん。何度か来たことがある伊吹山も、登る前から賑わいにワクワクしてきます。

僕が初めて伊吹に登ったのは中学1年の時。以来10回くらい来ていますが、雪の季節に登るのは今回が初めてです。ボードやスキーができるほどの積雪はありませんでしたが、ヒップそりで滑ることはできました。帰り道はグルマンヴィタルというペーカリーに立ち寄り、パンとコーヒーを食べて帰りました。By M.



伊吹山頂上にて集合写真

➤ 2/18(土) 大日ヶ岳【月例山行】

参加者:6名



頂上にて集合写真

➤ 3/19(日) 猫岳【月例登山】

参加者:3名



スキーを背負って